

E-Ladies

北陸でも電気工事の
そんな“E-Ladies”に

電気工事業で輝き、活躍する女性

vol.1
ISHIKAWA
LADY

目標は当社初の 「女性現場代理人」。

米沢電気工事株式会社 藤島 里紗
工務部 RISA FUJISHIMA

長く残るものを作りたい。
だから建設の道へ。

米沢電気工事株式会社に入社して6年目、現在は主に現場の施工管理を担当しています。現場代理人の上司のもと、安全管理や材料の手配・管理、施工チェック、工事写真の撮影を行っています。施工図の作成や現場監理上必要となる書類の作成も私の担当業務です。

建設業に関心を持った理由は、**ずっと残るものを作りたいという思いがあったから**。電子情報科で学んでいた高校時代に、先生から米沢電気工事を紹介していただき、地図に残る建設の仕事に魅力を感じました。もうひとつ、毎日同じことを繰り返



すような仕事はきっと自分には合わないという気持ちもありました。この仕事は、ふたつとして同じ現場はありませんし、ひとつひとつの現場も毎日変化するので、**学びや経験の機会が多いのも魅力だと思っています**。

やりがいを感じるのは、やっぱり現場の引き渡し完了した時ですね。また街で自分が関わった建物を見ると嬉しくなります。先日まである商業施設を担当していたのですが、一般のユーザーの方がネット上に

高評価のレビューを書いてくれているのを見て、すごく達成感を感じました。

ずっと現場に出続けたい。
無理なくそれが望めるように。

建設現場で働く女性はどんどん増えていると感じます。どうしてもまだ男性の仕事というイメージが強いと思いますが、私たち**女性も男性と同じように活躍できる環境づくりが進んでいる**のではないのでしょうか。実際、女性であることにハンデを感じることはほとんどなく、力仕事を男性に手伝ってもらうことがあるぐらいです。反対に、現場で数少ない女性だからすぐに顔を覚えてもらったり優しく接してもらえたり、という

技術者として活躍する女性が増えています。
お話を聞きました。



メリットはあるかもしれません(笑)。
当社は社内に女性専用のシャワールームやパウダールームが完備されています。また、女性目線で開発された女性用のユニフォームもできました。現場で働く女性の環境を**積極的に整備してくれているのが嬉しい**ですね。

私はこの仕事が好きで、これから先も長く現場で働き続けたいと考えています。だからこそ今後、結婚や出産を迎える時にどうなるのか、現場を離れなくてはいけないのでは、と心配に思うところもあります。男性だから、女性だからということではなく、**誰もが無理なく家庭と仕事を両立できる、そんな業界**になってほしいと思っています。

私の目標は、当社工務部初の女性現場代理人になることです。そのためにこれからも業務に励み、多くのことを学んでいきたいです。当社には私と同じように技術者として働く女性の後輩たちがいて、きっとこれからも増えていきます。彼女たちに先を越されず**自分が「女性初」になれるように、一生懸命がんばりたい**ですね。

私のオフの過ごし方

最近ゴルフを始めました。まだまだ初心者ですが、仕事のあとや休日に練習しています。早くラウンドできるようになりたいです。

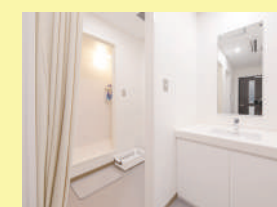


米沢電気工事株式会社 陸畑 慎一
工務部 部長 SHINICHI RIKUHATA

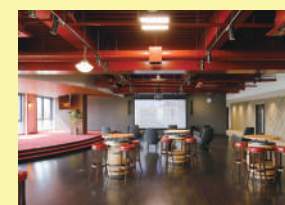
就業人口が減少する中で、当社は**女性技術者を会社の貴重な「人財」と**考え、積極的な採用と環境整備を行ってきました。現在当社では複数の女性が技術者として働いており、「男性の職場」というイメージを変え、**明るく和やかな雰囲気を作ってくれている**と感じます。仕事も丁寧で一生懸命なので、周囲の男性たちもよい刺激を受けているのではないのでしょうか。当社では、女性が個性と能力を発揮して活躍できる雇用環境整備のための行動計画を掲げ、働きやすさ、キャリア支援、ワークライフバランスなどあらゆる面から女性社員を取り巻く環境を整備、改善してきました。これからの時代も発展し続けられる業界であるために、**女性の活躍は不可欠**です。当社はもちろん業界全体として、女性が安心して活躍できる職場づくりを推進していきたいものです。



今年完成した新社屋には女性社員専用のパウダールームも完備された。



男女それぞれに設けられたシャワールームは現場で働く女性社員に好評。



社員が自由に使えるホール。災害時には地域住民の避難所として活用される。



新しく導入された女性用作業服。女性社員の意見を取り入れて開発された。

E-Ladies

北陸でも電気工事の
そんな“E-Ladies”に

電気工事業で輝き、活躍する女性

VOL.2
FUKUI
LADY

技能競技全国大会への 出場を目指す。

株式会社NYUTEC(ニューテック) 立木 朋子
工事部内線工事課 TOMOKO TATSUKI

電気工事士だった父と 同じ道へ進むことに。

福井県敦賀市の株式会社NYUTECで電気工事士と事務職を兼任しています。入社5年目、それ以前は調理師として働いていました。父が電気工事士だったので親しみのある職業ではありましたが、自分がその仕事に就くとはまったく思っていなかったんです。

NYUTEC代表取締役社長の石橋直之は実の弟で、同じく電気工事士の父の姿を見て育ち、電気工事会社を立ち上げました。その会社が忙しくなって「事務作業を手伝ってほしい」と言われたのが入社のきっかけです。当初は事務職でしたが、もと

もと何かをつくることや体を動かすことが好きだったので、社長の後押しもあって資格を取得、電気工事士として現場に出るようになりました。

現場の仕事は思っていた以上に楽しくて、配線や器具取付の技術が日々上達していくことにやりがいを感じています。住宅の現場では、自分の知らない照明器具や設備を見てわくわくできるのも魅力ですね。

女性だからと区別されない。 そんな環境がやる気に。

女性だから特別ということはありませんが、住宅工事の施主さんが気軽に話しかけてくださるということがありますね。また、自分が施主だったら



どうしたいかな、と考えることもよくあります。先日も、屋外用コンセントの色を提案したら、喜んでもらえたということがありました。**美しさやきれいなことにこだわるのも女性の強みかもしれませんね。**

女性だから難しい、できないということはほとんどありません。反対に、女性だからと区別せずに接してくれることが、私のやる気につながっています。もちろん力仕事や高いところの作業など男性のほうが

技術者として活躍する女性が増えています。
お話を聞きました。



向いていることもあります。そういう時は周囲にサポートしてもらいながら、しっかりと自分の仕事をしていきたいと思っています。

電気工事士という仕事を 女性たちに知ってほしい。

女性が働く環境は年々整ってきていると感じますが、それでもまだ現場に出る女性が少ないのは事実です。私は電気工事が家業の家に育ったので特に抵抗なくこの業界に進みましたが、女性も働ける職種なのだと、**女性たちにもまだまだ知られていないのではないのでしょうか。**たくさんの女性が活躍できる業界になるために、もっと世の中の人に知ってもらうことが重要だと思います。

今の私の目標は、電気工事技能競技全国大会女性の部に出場することなんです。そのために、より高い技術を身につけて上級資格も取得し、どこ現場でも通用する電気工事士になりたいと思っています。いつかは後輩の女性電気工事士に仕事を教えたりもしたいですね。

私のオフの過ごし方

元調理師でもあり、料理やお菓子づくりが好きです。お休みの日は子供たちと一緒に料理をしったりして過ごします。



株式会社NYUTEC 石橋 直之
代表取締役社長 NAOYUKI ISHIBASHI

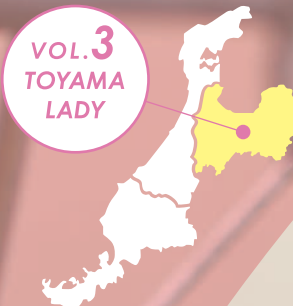
電気工事士として働く上で、**男性・女性とはあまり関係がない。**今、そう思えるようになったのは、実は姉(立木 朋子)のおかげです。事務のサポートをお願いしていた姉が「現場に出たい」と言わなかったら、当社が女性電気工事士を現場に送り出すのはもっと先だったことでしょう。現場で楽しそうに働く姉の姿を見て、性別は関係ないのだと思うようになりました。女性が現場で働くようになって、よくなったことがたくさんあるんです。職人気質の男性が多い現場では、**女性のコミュニケーション能力や気配りがとても貴重な役割**を果たします。また、男性とは見るポイントが違い、特に住宅の施工では**家事や子育てをしている経験が活かされている**と感じます。さらに、一緒に働く男性たちにもよい影響があり、現場の雰囲気明るくなったのも大きな収穫だと思います。とはいえ、まだまだ女性が存分に力を発揮できる環境とは言えない面もあります。子育てをしながら現場で働くことは困難で、これはひとつの会社だけで解決できる問題ではありません。世の中や業界全体で意識を変えていくことが求められるのではないのでしょうか。これからも、どんどん現場で活躍する女性が増えてほしいと考えており、



当社でも女性の採用を促進していく予定です。電気工事が女性にとっても魅力的な仕事であることを、積極的に発信していきたいと考えています。

E-Ladies

電気工事業で輝き、活躍する女性



VOL.3
TOYAMA
LADY

女性も個性を発揮できる。
そんな業界だと伝えたい。

笹嶋工業株式会社 北島 美喜
配電工事部 係長 MIKI KITAJIMA

幅広い業務を経て感じる、 女性にとっての可能性。

富山県南砺市の建設会社、笹嶋工業に勤めて23年になります。大学で建築を学び、地元の企業に就職したいと考えたのが入社のかきかけでした。

入社当初は土木部に所属し、その後建築部門の営業となり、さらに太陽光発電が普及しはじめたのに合わせて、その営業もするように。2012年には会社の組織変更に伴って、配電工事部に異動となりました。いろいろな部門での経験を経て、現在は施工管理をはじめさまざまな事務作業、営業活動、会社の採用活動や広報活動にも携わっています。



日々幅広い仕事に携わっていると、「**建設業には女性を活かせる業務がたくさんある**」と感じます。建設業が一般的に持たれているイメージはやはり男性社会で、確かに男性が多い環境ではあるのですが、本当は**女性にとっても多くの選択肢がある業界**だと思うんです。

採用活動の中で、地域の高校生の皆さんが企業見学に訪れることがあります。見学先の企業は生徒の

意志ではなくあらかじめ決められているため、「建設業への就職なんて考えたこともない」という女子生徒もやってきます。はじめは建設業のことをほとんど知らない子も、いろいろな業務があることや私自身が感じているやりがいなどを話すと、興味を持ってくれることも多々あるんです。

「女性だから」ではなく 「その人」に向く業務を。

「女性が活躍できる業界に」とよく言われますが、**当の女性たちにはまだまだ理解されていない業界**なのではないでしょうか。

まず大切なのは、どのような業務

北陸でも電気工事の
そんな“E-Ladies”に

技術者として活躍する女性が増えています。
お話を聞きました。



があるのかを知ってもらうことだと思います。男性と同じ仕事で張り合わせるのではなく、**女性の感性やその人の個性を活かせる仕事をしてもらおうという視点が必要**で、そのためにもどのような仕事があるのか、どんなことで活躍できるのかを発信していくことが重要なのだと思います。

私自身は、以前土木工事の施工管理をしていたこともあって書類作成が得意です。現場代理人として原価管理を任せてもらえることにもやりがいを感じます。また職人氣質の方が多い環境で、職人さんと若い世代のコミュニケーションを円滑にする役割を果たしたいとも考えています。

どんな仕事に魅力を感じるか、どんなことにやりがいを見つけられるかは、同じ女性であっても人それぞれのはずです。現場でも、監督でも、CADオペレーターでも、**建設業にはその人が望む仕事のできる可能性がある**ことを、これからも発信していきたいと思っています。

私のオフの過ごし方

子供たちとの時間を楽しんでいます。一緒に家庭菜園の収穫をしたり子供のスポーツを観戦したりして過ごします。



笹嶋工業株式会社 笹嶋 一昭
専務取締役 KAZUAKI SASAJIMA

建設業界が忙しかったバブル期に、人材確保のために女性技術者の求人を出したものの応募がなかったという経験があり、その頃からこれからの業界における女性の必要性を考えるようになりました。以来、当社では合計8名の女性技術者を新卒採用してきました。

女性が活躍できる環境をつくるためには、ふたつのことが特に重要だと私は考えています。ひとつは「**適材適所**」です。女性だから特別扱いをするのではなく、**その人の能力や資質に合わせた業務を用意すること**で、生産性の向上といったメリットが生まれます。

もうひとつは、「**正当な評価**」です。男性社会で働く女性は正しく評価されにくいという現実があるのではないのでしょうか。また、周囲が「女性だから甘やかされている」と不平不満を持ってしまうこともあるかもしれません。そうならないために、**上司は女性社員本人や周囲と密にコミュニケーションを取り、あるいは女性のワークライフバランスについて周囲の理解を促して**、皆が力を発揮できる環境を作っていく必要があると思います。

これからも建設業界が女性にとっても魅力的な仕事となるよう努力を続けていきたいと考えています。



富山県南砺市の総合建設会社、笹嶋工業株式会社。現在は4名の女性技術者が活躍している。



昨年移転した新社屋にはコミュニケーションコーナーや女性専用のリラクゼーションルーム等を完備。

E-Ladies

電気工事業で輝き、活躍する女性



VOL.4
ISHIKAWA
LADY

電気工事の仕事は幅広い。
だからこそ柔軟に働ける。

株式会社今出電気商会 中富 静華
総務部 主任 SHIZUKA NAKATOMI

北陸でも電気工事の
そんな“E-Ladies”に

技術者として活躍する女性が増えています。
お話を聞きました。



なって感じるのは、現場の状況は大きく変わり、**女性も活躍できる環境**がかなり整ってきたということです。会社も環境づくりを重視してくれ、2020年に完成した新社屋には男女別のトイレや休憩室が新設されました。2022年からは完全週休二日制も導入され、**私をはじめ子育て中の社員にとっては非常にありがたいことでした**ね。

一言で電気工事と言っても、技術者もいるし監督もいる、現場仕事もあるしデスクワークもある、そんな幅の広さがこの仕事の魅力だと思うんです。力仕事だけでなく、いろんな人が活躍できる職業であることを、性別関係なく多くの人に知ってほしいですね。また私のように、その時々**の職場の状況に合わせて柔軟な働き方ができる体制づくりも、特にライフイベントによって働き方が制約されやすい女性にとっては魅力**になるのではないかと思います。

私自身も、この業界に魅力を感じて働いている女性のひとりとして、これからも業界の発展に貢献していけたらと思っています。

私のオフの過ごし方

休日は硬式テニスをしている娘たちの応援をしています。遠征もあるので週休二日になったのが嬉しいです！

現場から総務、また現場へ。
多彩な業務で感じたやりがい。

石川県小松市の今出電気商会で、現在は総務部に所属しながら電気工事士として現場管理も担当しています。現場に出る仕事がしたくて入社してから28年、実はその大部分が総務部所属なんです。

入社当初は工事に配属され、体を動かす仕事に就きたかった自分にはぴったりの仕事だと考えていました。右も左もわからず飛び込んだ電気工事の世界でしたが、**同じ仕事はふたつとない毎日、照明器具ひとつ付けるにしても場所、配線、容量、器具が毎回違って…と勉強の日々で、それがとても楽しかったです**ね。



ただ当時は監督も技術者も女性はゼロに等しく、業界全体として女性が活躍しやすい環境とは言いにくい状況だったと思います。

現場で働き3年が過ぎた頃、総務の女性社員が退職したのをきっかけに総務部へ異動となり、総務の仕事をしながら工事の書類や写真の作成なども担当することに。工事を後ろからサポートする仕事にもやりがいを感じられたのと、出産・子育ての

面での働きやすさもあって、もう現場には戻らないつもりで社内での仕事に取り組んでいました。

仕事の幅広さを伝えられたら
魅力を感じる人もいるはず。

また現場に戻る転機になったのは7年前。業界としても女性の進出が広がりつつあり、**現場でがんばっている女性の話を聞く機会も増えてきた**時期に、当社も女性技術者候補を採用することになったんです。私の負けず嫌いな性格もあって(笑)、先輩として先に資格を取ろうと第2種電気工事士を取得、その4年後に第1種も取得しました。

今またこうして現場に出るように



株式会社今出電気商会 山岸 貞治
工務部 設計管理課 課長 SADAHARU YAMAGISHI

中富さんは現場作業員を希望して入社し、その後**総務の仕事や電力申請の業務**を行いながら現場代理人補佐として**書類作成や写真の整理、CAD操作**も習得、さらに今では**現場代理人も任されている**というマルチに活躍する女性で、私も彼女には何度も助けられています。

性別に関係なく人にはそれぞれの得意不得意があり、得意分野を活かし合いながらみんなで仕事を進めていくことが大切です。適材適所を見極めること、また**個人の事情や会社の状況に応じて柔軟な人員配置を行える体制づくり**も、今後ますます重要になってくるのではないかと思います。

今出電気商会では近年積極的に働き方改革の環境整備が進められ、完全週休二日制の導入、ワークライフバランスのための社内労働規約の改定などが行われました。また2020年12月に完成した新社屋では、男女別のトイレと休憩室の設置に加え、社員同士のコミュニケーションを促進するためのスペース「ブレイクラウンジ」も新たに設けられています。

建設業や電気工事という仕事が今後さらに魅力的なものとなるように、企業も私たち社員もできることから取り組み、ひとつずつでも着実に状況を改善することが求められるのではないのでしょうか。



石川県小松市の今出電気商会。社員の働く環境づくりに注力し、2020年12月には新社屋に移転した。



新社屋に設けられた「ブレイクラウンジ」。社員の休憩や会議スペースとして活用されている。